



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2017 **6**

神戸医療生協なでしこ支部
生協会館「かがやき」



JR 新長田駅南側「鉄人28号」モニュメント前で



4月21日(金)～23日(日)、東日本大震災発災後、継続して被災地支援活動を行っている神戸医療生活協同組合にみやぎ県南医療生活協同組合の皆さんが訪れました。一行は、神戸医療生協の組合員さんとの交流や野島断層見学など神戸・淡路を満喫しました。(関連記事 P.5)



園田学園女子大学生生活協同組合
専務理事

大須賀 修

(おおすが・おさむ)

魅力ある大学生協づくりを

今年度の園田学園女子大学生生活協同組合の方針として、『組合員の支持を高めて『魅力ある大学生協づくり』を目指します』を掲げています。

組合員の支持（満足度）を高めるために、魅力ある商品やサービスの提供を今まで以上にこだわってゆきたいと考えています。

学内にあるからこそ得られる様々な細かい情報から知識・経験を基に講義や学園生活で必要とされる商品やサービスを感知し、品揃えすることで、必要な時に必要なものがある、痒い所に手の届くお店を作ってゆきたいと考えています。

また、大学生協専用ICプリペイドカードを組合員証に導入して3年が経ちました。現在約8割の組合員がICプリペイドカードを所持しています。このカードを利用した利用者還元を行うことで、組合員になることの優位性の周知の強化を図ってゆきます。

生協加入の優位性を実感してもらい、組合員からの支持（満足度）を高めることで、組合員に「加入して良かった」と思える環境を作りたいと考えています。

合わせてここ数年、教職員への加入促進の取り組みが弱く、生協未加入者が少なからずおられます。

生協加入の優位性を目に見えるものにして、加入呼びかけをしてゆきます。また、来年度から新規採用教職員に対して加入を呼びかけることのできる場の設定

を学園にお願いし、設けていただくよう働きかけてゆきます。

教職員以外にも、生涯学習で来講される公開講座やシニア専修コースのシニア層に対しても同様に加入をすすめます。

学園の構成員全ての方に組合員となっていたいただき、学園での日常生活や余暇などの利便にも積極的に活用してもらえ「欲しいものはとりあえず生協で揃う」と言っていただけの園田学園女子大学生生活協同組合を目指します。

近年、大学の中にも大手コンビニエンス等の出店が相次いでおり、出店のあったキャンパスでは大学生協の事業にも少なからず影響が出ています。また、学内出店はなくても大学周辺に出店があれば、影響は避けられません。

園田学園女子大学のような小規模キャンパスでも何時「学内にコンビニを」といった声が出ないとも限りません。

園田学園には園田学園女子大学生協があるから（大手コンビニはなくても）大丈夫と言ってもらえるよう今後とも努力してゆきたいと思えます。

園田学園女子大学生生活協同組合に着任して5月で1年が経ちます。色々な事象がようやくわかってきました。

この1年で見えてきたことやうまくいかなかったことを、検証して改善しながらこれからの1年取組んでゆきたいと思えます。

CONTENTS

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 2. 想点 | 6. 協同組合のかけ橋 |
| 3. 「第95回国際協同組合デー・兵庫県記念大会」のご案内／
単協通信 生活協同組合コープこうべ | 7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 |
| 4. 単協通信 ひまわり医療生活協同組合／
ろっこう医療生活協同組合 | 8. 「広島被爆ピアノ平和コンサート」のご案内／
県連日誌／編集後記 |
| 5. 単協通信 神戸医療生活協同組合／
たじま医療生活協同組合 | |

第95回国際協同組合デー・兵庫県記念大会のご案内

国際協同組合デーは、世界中の生協や農協、漁協、森林組合など協同組合にたずさわる人々が心を一つにして協同組合運動の前進を誓う日として、毎年7月第1土曜日と定められています。この日を受けて兵庫県記念大会を開催します。記念講演は上野千鶴子氏（社会学者・東京大学名誉教授・認定NPO法人ウイメンズアクションネットワーク（WAN）理事長）をお迎えし、「おひとりさま」と「おたがいさま」をテーマにお話しいただきます。ご参加お待ちしております。

■と き：2017年7月6日(木) 13:30-16:00

■と ころ：兵庫県民会館9階 けんみんホール
(神戸市中央区下山手通4-16-3)

■内 容 I部 記念式典
II部 記念講演「おひとりさま」と「おたがいさま」
講 師 上野千鶴子氏



菅野勝男撮影

■参加人数：350人（入場無料・先着順） *事前にお申し込みください。

■主 催：兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫 JCC）兵庫県生活協同組合連合会・
兵庫県農業協同組合中央会・兵庫県漁業協同組合連合会・兵庫県森林組合連合会

■お申込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会

電話：078-391-8634 FAX：078-392-2059

単協通信



左から、コピー、大谷 敦子 コープこうべ理事・
コープこうべ災害緊急支援基金委員長、
高橋 守雄 ひょうごボランティアプラザ所長、
橋本 正人 兵庫県企画県民部 県民生活局長

4月19日、「ハート基金（コープこうべ災害緊急基金）」は、ひょうごボランティアプラザを通じて「ひょうごふるさと寄附金」として100万円を拠出しました。拠出金は、ひょうごボランティアプラザが実施する「ひょうご若者被災地応援プロジェクト事業」の経費として、被災地の復興支援や被災地支援を担う人材養成に役立てられます。

これを受けて4月28日、コープこうべ住吉事務所では、知事感謝状贈呈式が行われました。

生活協同組合コープこうべ ハート基金から「ひょうご若者被災地 応援プロジェクト」へ100万円を拠出

ハート基金（コープこうべ災害緊急支援基金）は、コープこうべでは、阪神・淡路大震災以降、国内外で発生した自然災害に対して緊急募金を行い、被災地を支援する活動に取り組んできました。しかし、緊急募金は、災害発生後に取り組むため、どうしても現地に届くのに時間がかかります。そこで、「少しでも早く届けたい」という組合員の思いから1999年1月に「ハート基金（コープこうべ災害緊急基金）」を設立しました。この基金は、組合員の任意組織である「基金運営委員会」が運営し、初期の救援活動を中心に、被災地・被災者が必要とする支援に活用されています。

ひょうご若者被災地応援プロジェクト事業
大学・高等学校・専門学校等に通う学生など、ひょうごの若者が継続して地震や豪雨災害等の被災地を応援するプロジェクトに対して経費を助成することにより、被災地復興を支援するとともに、今後の被災地支援を担う人材養成を行う事業。

（通信員 榊原 晶子）

ひまわり医療生活協同組合

ほっとぷらっと(子ども食堂)

始めました

「ほっとぷらっと」は「ぷらっと」寄れて、ほっと一息つけて、できたて熱々(hot)の一皿(plate)をみんなで楽しくいただける場所」です。昨年8月末から準備を始め、11月9日にお試して「みんなでカレーを食べようかい」を実施しました。以降、第二土曜日(グループハウス尼崎)、第四土曜日(地域総合センター今北)のお昼に開催しています。

多い時で、校区の子どもたちが40人、地域の大人が20人ほど参加しています。

運営するのは、ひまわり医療生協の組合員さん、地区の民生児童委員



有志、志しある個人のみなさんで、立ち上げに際しては地区社協や尼崎市子ども政策課の方々の協力をいただきました。また、コープこうべさんから月二回、食材の支援もいただいています。

まだ始まったばかりですが、育友会や地域の方々のスタッフへの参加を広げながら発展させていきたいと思えます。

(通信員 酒井成美)



ろっこう医療生活協同組合

『親子deケンポー!』開催!

ラッキイ池田さんと、親子で楽しく憲法を学ぼうと4月2日(日)午前、東灘区住吉のうはらホールで『親子deケンポー!ラッキイ池田と歌って踊って学んじゃおう♪』を開催し、子ども350人大人250人計600人が参加。熱気と子どもたちの歓声で大盛り上がりとなりました。ラッキイ池田さんと、あすわかの弁護士さんのトークとダンスに、場内の親子も総立ちで、汗を流しました。

子どもたちには動物キャラクターとラッキイさんの直筆サイン入りワッペンがプレゼントされ笑顔があふれました。「こんなに楽しいイベントは初めてです」「子どもにどんな日本を残すか不安に思う母親です。ゆるーく楽しくケンポーを考えてほしい」という思いにぴったりの企画でした!との声が多く寄せられました。舞台には、絵画教室「アトリエ太陽の子」さん提供の『命の一本桜』の大絵画が飾られ、一足早く、桜が満開となりました。

(通信員 古市賢二)



忘れない「絆」

4月21日(金)～23日(日)、みやぎ県南医療生協から9人の組合員が、神戸医療生協へ視察に来られました。今回の視察は、神戸医療生協が東日本大震災の支援活動として、宮城県山元町のボランティア活動を続けてきたことがきっかけで、船岡支部の組合員さんの「一度は神戸を訪りたい」というご要望が実現したものです。

初日は、社会福祉法人「駒どり」が神戸市北区に昨年建設した、特別養護老人ホーム「駒どりの郷」を見学。トイレのドアが大きく開く点や、お風呂について利用者が快適に暮らせるように考えられている点に驚かれました。次に神戸医療生協の西区にある生協会館「かがやき」を訪問。生

協会館の運営や、班会での取組みについて交流。会館前の公園でグランドゴルフ



神戸協同病院を視察

フに汗をかきました。その夜は組合員宅で交流し、震災支援の6年間の思い出話も飛び交い今後の支援についての意見交換ができました。

2日目は、北淡震災記念公園(野島断層保存館)を見学。東日本大震災を経験したからこそ、阪神大震災との違いを感じられていました。

3日目は、午前中に「神戸協同病院」・「サ高住…きょうどうの家」を視察。

残る時間で、神戸北野を見学し、3日間の視察を終えました。

(通信員 青手木努)

「なんなっと」にたくさんの期待の声

第2回総会開催

4月27日(木)豊岡市の新田コミュニティセンターで、暮らしの助け合いの会「なんなっと」第2回総会を開催し、38人が参加しました。

来賓として豊岡市高年介護課、豊岡市社会福祉協議会などからお越しいただき、それぞれ「なんなっと」への期待が語られました。

また神戸医療生協の川端典子さんより「支え合い活動」について講演がありました。

その後、和田代表から1年間の活動報告の中で、約500件の支援件数や幅広い内容の依頼があり、今後依頼に応えられる支援者の確保が課題だとの報告がありました。

この1年を振り返ってみると、もはや介護保険だけでは支えきれなくなってきたっており、そこからインフォーマル組織(介護保険を利用しないサービス)への期待が高まってきたかと思えます。

これからの活動方針として、利用者さんの思いや要求に応えられる組織づくりが必要であり、そのために

も支援者の広がりやスキルの向上が大切です。

行政や地域の様々な団体や個人とつながり「無差別・平等の地域包括ケア」に向けた視点での支えあい活動の展開につなげていきたいと思えます。

(通信員 春木圭介)



協同組合のかけ橋

JF

兵庫県水産振興基金

“生さわらVS生しらす”前哨戦が行われる ～淡路SAでPR対決～

淡路島で販売される生しらす丼は、JF淡路島岩屋と北淡路ブランド推進協議会が取り組みをはじめて7年目を迎えます。



2014年には約83万食を売り上げた人気丼で、今年は100万食を目指しています。一方、JF五色町、洲本市などで作る「淡路島サワラ食文化推進協議会」は、サワラを使った“づけ丼”や“茶飯”を「淡路島の漁師飯」として商品化し、取り組み開始から3年となる今年は島内29店舗まで拡大し提供しています。

この2つの丼が4月26日(木)～6月30日(金)の間、これらの丼を提供する島内63軒の飲食店等で味わった人たちに、公式フェイスブックで「いいね！」ボタンを押してもらい、その数を競うイベント「生さわらVS生しらす」で対決します。そこで、4月22日(土)淡路サービスエリアにおいて「対決の勝敗を予想する せっかちな企画」として、立ち寄った観光客を対象にイベント前哨戦が行われました。

まず、JF淡路島岩屋 東根 壽組合長が「鮮度にこだわっており、甘みと触感が特徴。淡路島で獲れるシラスを是非味わってほしい」と生しらす丼を大きな声でPRされ、一方、JF五色町 福島 富秋組合長は水揚げされたサワラを手に「生サワラは馴染みがないかもしれないが、淡路島の食文化のひとつ。是非食べて頂きたい」と訴えました。これを聞いた観光客は「おいしそう！」「食べてみたい!!」と思った方にシールを張って投票しました。

結果は、抜きつ抜かれつの大接戦で、最終投票時には同点となり、投票人数を増やした延長戦でも同点、最後に1名だけ募集したところ、79対78で生しらす丼の勝利となりました。

前哨戦は生しらす丼の勝利となりましたが、本番の対決はいかに！



生しらす丼の美味しさを話す東根組合長



福島組合長はサワラを手にPR

JA

JAグループ兵庫

兵庫のうまいもんをPR/ ひょうご五国のめぐみ物産展

JAグループ兵庫は、3月23日に東京・永田町で開催された「ひょうご五国のめぐみ物産展」に参加しました。この催しは、首都圏で兵庫県の農林水産物をPRしようと自民党が党本部前で開きました。イチゴやタマネギ、日本酒など多くの兵庫のうまいもんが勢ぞろいし、人気を集めました。特に、神戸ビーフの試食は開始30分で終了するほど盛況でした。

JAグループ兵庫は米、水菜、レンコン、菜の花、レタス、ヤマノイモなどの新鮮な農産物を販売しました。購入した人からは「兵庫の新鮮な野菜で料理をするのが楽しみ」「どのような調理法があるのか」などの声が聞かれました。

会場には、自民党の二階俊博幹事長や県選出国会議員らが駆け付け、二階幹事長は「財布のひもを緩めて兵庫の農産物の購入を」と呼び掛けました。

また、井戸敏三兵庫県知事が「兵庫県の各地には特色ある農産物があります。試食もたくさん用意しているのでご賞味ください」とPRしました。



あいさつする井戸兵庫県知事



東京の消費者への販売



商品テストにチャレンジ! 体験学習会

近年、様々な商品事故が多発しており、商品の品質機能や安全安心に関する相談が県下の消費生活センターに多数寄せられています。そこで、生活科学総合センターでこれまで実施してきた商品テストで得られたノウハウを活かし、消費者自らが商品テストを体験しながら学ぶことができる「商品テスト体験学習会」を実施します。

この学習会を通じて、商品や食品などの知識・特性・機能等を学ぶことで、自ら理解・行動・選択できる力（消費者力）の習得、向上を図り、消費者被害の未然防止につなげることを目的としています。

当センターから、テスト機器を持参し、食品・生活用品・環境など分野毎に登録した「商品テスト専門家」を派遣します。県内各地で実施される研修会やイベント等でご活用ください。

- ▶ 募集期間：平成29年5月～平成30年2月
- ▶ 実施期間：平成29年6月～平成30年3月
- ▶ 場 所：申込み団体・グループの希望する場所
- ▶ 申込期限：実施希望日の1ヶ月前

その他、申込み方法や商品テスト体験学習会のメニュー例など、詳しくは、兵庫県生活科学総合センター ホームページをご覧ください。

➔ <http://www.seiken.server-shared.com/research>

【申し込み・問い合わせ先】 〒650-0046 神戸市中央区港島中町4丁目2
生活科学総合センター 相談事業部 商品テスト体験学習会担当まで
電 話：078-302-4028 FAX：078-302-4002
(兵庫県生活科学総合センター)

兵 庫 県 知 事 選 挙

投票日 7 月 2 日 (日)

そろって投票しましょう!
【期日前投票のできる期間】
6月16日(金)～7月1日(土)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江です。

6月に入りましたね。だんだん、蒸し暑い日も多くなってきました。先日、淡路島の南に浮かぶ沼島へ行ってきました。小さな島で、漁師町でありながら、どこか、優しい雰囲気のある島でした。沼島八幡神社をお参りし、そこから見る島の景色は、とても美しかったです。

さて、6月というのは、会社や法人の「総会」が多く開催される時期です。ひょうご消費者ネットも、6月17日(土)に通常総会が開催されます。今回は、消費者問題のお話ではないですが、総会のことについて、少しお話ししたいと思います。会社や法人は、法律上、事業年度の終了後、一定期間内に、総会を開催しなければならないこととなっています。この総会は、株式会社であれば、定時株主総会と呼ばれ、法人であれば、通常総会と呼ばれています。この総会では、1年間の事業内容や収支・決算を報告したり、次年度の事業計画を報告します。役員の改選時期であれば、役員の選任が行われます。おおよそ、総会では、こんなことを承認したり決議したりしているのです。

それでは、また来月号でお会いしましょう。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL：078-361-7201 E-mail：office@hyogo-c-net.com

MOVE

広島被爆ピアノ ピースアクション2017 平和コンサート



原爆の爆風で傷つきながらも
永い歳月を乗り越えた
「被爆ピアノ」が平和を奏でる
コンサートを開催します。
みなさまのご参加をお待ちしております。

広島被爆ピアノプロフィール

ホルゲル(HORUGEL) アップライトピアノ(カズコのピアノ)
製造:昭和15年 形状:88鍵 象牙鍵盤 2本ペダル 高さ129cm
広島市南区 原爆投下時、爆心地より2.6kmで被爆。元の持ち主とピアノが自宅にて同時被爆。平成21年5月、所有者(和子さん)よりピアノ調律師・矢川光則さん(広島市)に託される。

出演予定

矢川 光則
(矢川ピアノ工房)

甲南大学文化会
(JAZZ研究会、KSWL)



ソプラノ
大島 久美子



ピアノ
森須 奏絵

2017年8月19日(土) 13時 開場 / 13時30分 開演(終演 15時30分 予定)

コープこうべ生活文化センター 2階ホール

神戸市東灘区田中町5丁目3-18 TEL/078-431-5273

入場無料

事前のお申し込みが必要です

先着400名様

お申込み方法

「お名前・年齢」・「〒(郵便番号)・ご住所」・「電話番号」・「ご同伴者(4名まで)のお名前・年齢」・「ご利用の生協名」を明記のうえ、【ハガキ】【FAX】【メール】にて、以下の方法にてご応募ください。

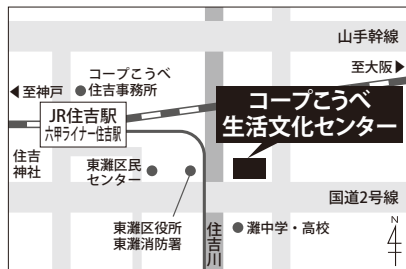
※定員400名に達し次第、締め切ります。
ご参加いただけない場合のみご連絡させていただきます。

申込先 〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16-3 県民会館4階
兵庫県生活協同組合連合会 「広島被爆ピアノ平和コンサート」係まで

FAX 078-392-2059

メール hyogo@kobe.coop.or.jp

♪お子様もご一緒にご参加いただけます。



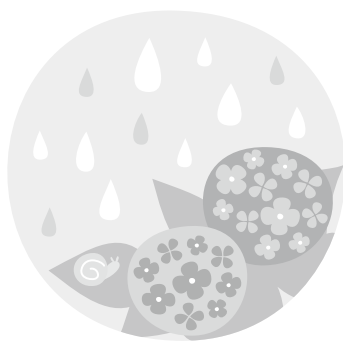
■JR「住吉駅」下車 東へ約8分

主催：兵庫県生活協同組合連合会

後援：神戸市教育委員会・神戸新聞社

編集後記

極度の方向音痴です。通った道でも帰り道、迷子になることもしばしば…。先日、何度も行ったことのある建物ですが雨が降っていたので、いつもと違う道(地下道)を通りました。守衛さんに行き方を聞いたにもかかわらず、途中からどこにいるのかわからなくなり、階段を上ったり下りたり…なんとかたどりつきました。帰りはどこを通ってきたか更にはわからなくなりウロウロ…完全に不審者でした。方向音痴ですが、なぜか道をよく聞かれます。先日は1日に3回も聞かれました！以前、編集後記で宣言(?)した「表情やわからなく、受け入れる姿勢を心掛けたい」が実践できているのかしらと自己満足しています。(大戸)



県連日誌

6月5日(月) 兵協連第3回役員推薦委員会・第7回理事会 (県民会館 1201)

6月26日(月) 兵協連第67回通常総会・第1回理事会 (県民会館 パルテホール)